

## 事業活動報告

事業所名 第三かめおか作業所

1.2017年度 事業所方針 【就労移行・就労継続B型】
<p>*pleasure made! 「できた喜びをつかむ」</p> <p>第三の大きな柱は「自分らしく普通に生きることが当たり前認められる地域の実現」です。職員みんなが全体を見て前にすすむために、「培ってきた土台を踏み固める（共有する）」「一人ひとりができる実感や喜びをつかむ」ことを大切に取り組んでいます。</p>
2.利用者・職員状況について
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者 39名（男性22、女性17）定員-1</li> <li>・職員 13名 正規6名 非正規7名（所長1名 主任2名 支援員10名）</li> <li>・作業 和洋菓子グループ… シフォンケーキ、もち焼きあられ等の製造・販売 地域就労グループ… スーパーやマンション、公共施設の清掃、草刈り、ワックスがけ</li> </ul>
3.2017年度の実践内容について
<p>今年度は就労移行支援を利用するメンバーの減少に拍車がかかり、初めて年度内に一般就労するメンバーが「ゼロ」になりました。（年度をまたがり、翌年4月に2名が就職をします）就労移行事業利用期限内に一般就労がなかったことによる報酬減算、また4月に新しく就労移行を希望される人の入所がないこと、新事業「就労定着支援」が創設されることと併せて、法人のなかでも今後のあり方をどう考えていくべきかが課題。</p> <p>また次年度から就労継続支援B型の報酬単価は「どれだけ工賃を支払ったか」によって決まります。障害のある人にとっても、事業所にとっても、&lt;できるようになる&gt;ことが一層求められる図式となりました。必要な加算要件をととのえ、これまで大切にしてきた、第三らしい、障害のある人が自分らしく働ける環境づくりを見失わない実践と事業運営が問われています。</p> <p>今年度最後の賞与は過去最高の外勤7万・内勤6万を支給することができました。事業の売上は昨年度実績を上回り、賞与の支払いをもって黒字で終えることができました。つながりを大切に私たちの思いを発信し続けてきたこと、各グループが積み重ねてきた第三らしさを見極めた事業が実を結んでいるものと思います。</p> <p>土曜開所日を活用したメンバー学習会は、仕事をふり返る、社会マナーなどの学びだけでなく、ゲームやおやつ作りなど多彩なプログラムを用意してきました。これまでは「社会人として必要な知識を身につける」ことを主な目的にしてきましたが、あらためて仕事から離れ、できる・できないという二分的評価のない時間をもつ大切さに気がつきました。働くことは否応なしに能力や努力が対象化され、できたこと・できなかったことが露わになります。うまくいかない自分を直視することから解き放たれる、「楽しい」を共有することが、自分らしく生きる重要な要素の一つであることを大切に、次年度も継続していきたいと考えています。</p>
4.2018年度への課題について
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域にとって特色ある各事業の役割、めざすこと、事業体系の見直し。</li> <li>・働きがいやたくさんの工賃を得ること、自分が納得できる多様な働き方の保障、そのことを真剣に取り組むことができる職員集団作りの推進。</li> <li>・一人ひとりが豊かに生きるための働く支援とそれ以外の支援や取り組みの拡充、地域の関係機関との連携。</li> </ul>